

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	レインボー・キッズ・クラブ		
○保護者評価実施期間	令和7年1月4日		令和7年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25人	(回答者数) 12人
○従業者評価実施期間	令和6年12月14日		令和6年12月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14人	(回答者数) 14人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団活動と個別活動を組合せ1時間のプログラムにすることで子どもが楽しく集中して様々な活動の経験ができること。	リトミック、絵本の読み聞かせ、運動あそび、個々に合わせた机上での活動を10分～15分で活動を切り替えることで集中を維持したまま楽しく様々な経験ができるようにしている。	活動のペースは変えずに飽きないようにアレンジしたり、お子様の発達や特性に合わせた内容になるよう変更や修正をし、楽しく効果的に療育がおこなえるようにしていく。
2	クッキング・おやつ作り等の活動の提供。	子ども達でも簡単に作れるメニュー、工程を考え、食材から料理になる過程を体験してもらうことで、衛生面の理解、調理器具の使い方、食文化を知れるようにしている。お皿を数える、包丁等器具の順番を待つ、作り方の説明を聞く等楽しみながら様々な事が学び経験できるようにしている。	様々な調理器具、調理方法、食材を使用し豊富な経験を積めるようにしていく。
3	職員の資質向上を図るためeラーニングで研修できる環境を整えている。	職員全員が月に一度事業所で決めた資質向上に必要な研修を受講する機会を設けている他に、隙間時間を利用し1本3分程度の必要な研修をいつでも自ら選んで視聴できる環境を作っている。	研修を通して学んだことを活かせる機会を作り職員の成功体験へとつなげ学ぶ事への意欲を高めていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族等の参加できる研修の機会や保護者同士の交流の機会、きょうだい向けのイベントを設けることができなかったこと。	お子様の特性を踏まえたかかわり方に関して知るよう支援の場面の観察等の機会は提供したが、ペアレント・トレーニング等の研修の機会を設ける事ができなかった。また保護者同士の交流の機会やきょうだいの方が参加できるイベントを開催することができなかった。	ペアレント・トレーニングはおこなうことができなかった。今後の課題として検討していきたい。また保護者同士が気軽に日々の悩みを話せる交流の機会をどのようにすれば開催できるかを検討していく必要がある。
2	協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等への参加ができなかったこと。	今年度積極的に参加することができていなかった。	今後、協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加していく必要がある。
3	その他地域で他のこどもと活動する機会を設けることができなかったこと。	室内での活動が主になった為地域のこどもと関わる機会をもてなかった。	地域の公園に遊びに行く等検討していく。